

年度		昭和56年度		昭和57年度		昭和58年度	
プール制 主な改善内容		第1表17号 (307,040) 第2表28号 (248,500) 第3表25号 (171,390) 有25号 (121,120) 有資格調理給の新設 (保母給より1号下位) 3表 3A表有調理 3B表無調理・作業		第1表第17号 (333,280) 17号→26号 (387,610) 第2表第28号 (265,240) 28号→37号 (287,820) 第3表第37号 (244,620) 新設(無保) 第3A表第25号 (243,210) 第3A表→第4表 25号→37号 (287,820) 第3B表第25号 (181,330) 第3B表→第5表 25号→37号 (198,280) 園長給の改定(経験加算導入) 無資格給の新設 昇給停止の導入 (銀行振込方式)		第1表第26号 (391,200) 第2表第37号 (290,480) 第3表第37号 (246,880) 第4表第37号 (290,480) 第5表第37号 (200,120) ・新配置基準による全面的な 組み替え ・他の単費の導入	
		処改 遇善 千円 247,292		処改 279,655 千円		処改 289,989 千円	
市施策 プール制のみ		乳対 447,694		乳対 482,713		乳対 487,758	
		休憩 136,673		休憩 114,358		休憩 117,754	
		調理 (182,042)		調理 137,608		調理 252,915	
		事務員 23,035		事務 25,319		事務 26,907	
		他		特例		特例 504,619	
		計		計 1,185,339		計 2,120,724	
国施策		保育単価園長給 (181,656)		—		保育単価園長(見送り) (186,300)	
		民間施設給与等改善費 480,340		—		民間施設給与等改善費 521,279 千円	
		特乳 D2→D4		補填 [84,769 60,917]		補填 143,492	
		44労働新設		計		計	
				保育園単価園長給 本俸(186,300)		44労働対策(130分) 保母 57,890 調理 48,920 特乳D4→D5	
				民間施設給与等改善費 513,005千円 社保負担増(所要額の1/2) 業務省力化等勤務条件改善 44労働対策(90分) 保母 38,850 調理 32,320 夜間・延長保育・年度途中入所		・新配置基準による全面的な組替 ・プール制拡大他の単費も導入 ・障害児保育もプール制へ ・プール制を強固なものにするためナースバンク構想と基金団構想が論議 [ナースバンク構想] 人事交流を活発に本人の不利にならないよう、互助の精神が生かせるよう、プール制のメリットが有効に生かせるように提案される。 [基金団構想] プール制に第三者機関をおくこととし、同時に果実を積立て有効に使うというもの	
		・有資格調理給の新設 (保母給より1号下位) ・措置費において、44時間労働制の新設 ・特乳D2→D4に拡大 ◆園数 213カ園 ◆総定員 21,295 名		・園長給の改定 (経験加算の導入4号上限 2号上限) ・第3表(無資格給の新設) ・昇給停止の導入(56才) ・夜間・延長保育・年度途中入所対策 ◆園数 218カ園 ◆総定員 21,750 名			

年度	昭和59年度	
プ ール 制 主 な 改 善 内 容	第1表第26号(396,760) 第2表第37号(295,930) 第3表第37号(251,570) 第4表第37号(295,930) 第5表第37号(203,830) ・配置基準一部改定 (現員・経過保障) ・園長給凍結 ・計算事務の電算化 (事務局に導入)	
市 施 策 プ ール 制 の み	処改	303,441 千円
	乳対	517,553
	休憩	119,740
	調理	260,651
	事務	27,922
	特例	523,872
	土曜	33,537
	夏休	89,348
	障害	218,603
	補填	192,092
	計	2,286,759
国 施 策	保育単価園長給	初 190,200円 末 (196,900)
	民間施設給与等改善費	576,552千円 44労働対策(165分) 保母 74,750 調理 63,480

- ◆園 数 224ヵ園
◆総定員 22,455 名

・6億5千万円の赤字予想

〔・累積 2億5千万
・S59 4億〕

S59.12.18 京都新聞
見出し『赤字6億 悩む民間保育園』
京都市の 225ヵ園ついに人件費カット
園長給の2割相当
保母急増 市の指導にも原因?

原因 1.国の動きの激変 見通しの甘さ
2.構想的な赤字の体質
定昇財源の問題

再建計画

① 59年度

緊急避難という事態の処理として園長給2割カット
で、単年度2億円の拠出
市も同額汗を流し、合計4億円で59年度の赤字を解消
更に残る累積赤字2億5千万円と構造的な赤字体質は
急に止まらないので

↓

② 60年度

ア 園長給2等級を3等級へ、給与表を移行させる
イ 園長給を60才で13号(府共済会最高号俸)に移行
ウ 定数A、B分離で端数計算を非常勤へ
市は、60年度より3年間毎年1億5千万ずつ補
正で補填
エ 61年度より60才以上の職員、昇給上限を保育単
価に移行

参考

市補填計画の日安(億円) <3ヵ年計画案>

	59年度	60年	61年	62年
補填	2.0	1.5	1.5	1.5
特例 休憩		0.5	1.0	1.5
計	2.0	2.0	2.5	3.0

年度	昭和60年度	
プ ール 制 主 な 改 善 内 容	第1表第34号 (372,450) 第2表第37号 (305,200) 第3表第37号 (259,200) 第4表第37号 (305,200) 第5表第37号 (209,710) ・再建3ヵ年計画開始 ・園長給改定 (2等級→3等級) ・配置基準の改定 (A・B分離) ・土曜、夏休、障害を市直接 執行に ・昇給上限 (60才～) ・新採の欠格項導入	
市 施 策 プ ール 制 の み	処改	315,294 千円
	乳対	563,591
	休憩	139,379
	調理	276,135
	事務	28,491
	特例 特休	581,374 49,500
	土曜	—
	夏休	—
	障害	—
	補填	190,000
	計	2,143,764
国 施 策	保育単価園長給	193,200 (203,400)
	民間施設給与等改善費666,579 千円 給与格付是正 (2年計画) 園長 5-8→5-7 保母 7-2→7-3 44労働対策 (200分) 保母 91,830 調 理 78,580	

プール制再建3ヵ年計画開始

- ・園長給改定 (2等級→3等級)
- ・配置基準の改定 (A・B分離)
- ・土曜対策、夏休、障害をプール制から外し、市の直接執行に
- ・新採職員の欠格条項導入
- ・措置費
園長、保母給与格付是正 (2年計画)
園長 5-8→5-7
保母 7-2→7-3
- ・機関委任事務から団体事務へ
S60年 7/10 (国庫負担金)
S61年 5/10

◆園 数 224ヵ園
◆総定員 22,325 名

年度	昭和61年度		昭和62年度		昭和63年度	
主 な 改 善 内 容	プール制 第1表第34号 (394,790) 第2表第37号 (323,730) 第3表第37号 (274,560) 第4表第37号 (323,730) 第5表第37号 (221,650) ・所要額の社保負担 国基準並みに (0.1 → 0.11509)		第1表第34号 (403,150) 第2表第37号 (331,210) 第3表第37号 (280,940) 第4表第37号 (331,210) 第5表第37号 (226,380) ・労働時間短縮化 ・特例休憩の拡大 ・非常勤単価改善 (¥500円→¥510円)		第1表第34号 (408,650) 第2表第37号 (335,940) 第3表第37号 (285,120) 第4表第37号 (335,940) 第5表第37号 (229,570) ・端数置換の改定 ・夜間の特例導入	
市 施 策	処 改	160,009 千円		167,102 千円		167,306 千円
	乳 対	612,020		636,642		630,887
	休 憩	147,875		145,106		142,217
	調 理	328,720		330,226		332,356
	事 務	29,704		29,445		29,830
	特 例 特 休	606,975 110,859		617,509 172,289		623,035 170,341
	労 短					労働時間短縮 71,267
	補 填	170,000		130,000		0
	計	2,166,162	計	2,228,319	計	2,167,242
国 施 策	保育単価園長給 199,600円 (204,200)		保育単価園長給 204,200円 (207,200)		保育単価園長給 207,200円 (212,100)	
	民間施設給与等改善費 740,358 千円 給与格付是正 園長 4-7 → 4-6 保母 2-2 → 2-3 44労働対策(240分) 保母 112,700 調理 97,240 特乳 D5 → D6		民間施設給与等改善費 836,744 千円 業務省力化 保母 114,200 調理 99,320 機能強化推進費新設 (年50万円以内)		民間施設給与等改善費 774,728 千円 民收費(4区分制に改定) 業務省力化 保母 115,000 調理 100,360 特乳 D6 → D7	

再建2年目

- ・所要額の社保負担→国基準並みに
(0.1 → 0.11509)
- ・給与格付(2年目)
園長 4-7 → 4-6
保母 2-2 → 2-3
- ・職員処遇改善費
民收費保母の国基本分1600人分援
護費カット
- ・市の補填があるから再建中はよい
ものの将来の定昇財源の不足の原
因に

◆園数 224カ園
◆総定員 22,265 名

再建3年目

- ・端数の処理
- ・特別休憩保母基準の見直し
(夜間保育特例対策を含む)
- ・非常勤単価の改善
(¥500円→¥510円)

◆園数 226カ園
◆総定員 22,245 名

- ・機関委任事務から団体事務へ
- ・職員処遇課題検討プロジェクト
 1. 職員配置基準の見直し
(夜間保育特例対策を含む)
 1. 定員割れ対策
 1. 園長給の見直し
週44時間制(4週6休制)に
むけて自主的労働条件改善モ
デル集団の指定を受ける
- ・措置費の民收費3区分から4
区分の改定。実質6000万減
- ・単費
労働時間短縮費として71,267
千円(単費職員の業務省力化)
- ・昇給補填 2000万

◆園数226カ園
◆総定員22,275名

年度	平成元年度		平成2年度	
主な改善内容	プール制			
	第1表第34号 (417,230) 第2表第37号 (343,640) 第3表第37号 (291,830) 第4表第37号 (343,640) 第5表第37号 (234,740) ・配置基準一部改定 0才児 全3:1 (乳児園以外4:1→3:1) ・乳児保育指定園加算		第1表第34号 (429,000) 第2表第37号 (353,540) 第3表第37号 (300,630) 第4表第37号 (353,540) 第5表第37号 (241,890) ・給与表一部改定 (市の主任給導入1・2・4表) (市課長補佐給導入 1表) ・園長給与時加算5% ・非常勤単価@510→@530 ・保母加算対策 2才児 5:1→6:1 3才児 20:1→15:1 4才児 30:1→20:1 (特例休憩加配の拡大10H～) (事務近代化→保育単価相当額) ・外部委託による計算開始	
市施策 プール制のみ	処改	171,100 千円		
	乳対	—		
	休憩	144,795		
	調理	338,860		
	事務	44,272	処改	179,909 千円
	特例 特休	640,123 174,845	休憩	152,891
	土曜	623,837	調理	354,002
	夏休	71,354	事務	37,921
	障害	0	特例 特休	702,173 185,141
	補填	2,209,186	保加配	773,493
国施策	保育単価園長給 212,100 円 (219,100)		労短	35,591
	民間施設給与等改善費 814,570千円		補填	0
	乳児加算補助 214,755千円		計	2,631,121
	業務省力化 保母 116,500 調理 102,440		保育単価園長給 219,100 千円 (227,300)	
	乳児保育事業 (IH:特乳) (指定保育所に0才児3:1基本分 加算と補助金方式)		民間施設給与等改善費 858,975千円 乳児加算補助 214,972千円 園長給与時加算 (5%) 新卒・経験年数の少ない部分の給与 底上げ 業務省力化 (240分短縮) 保母 120,300 調理 120,300 事務雇上費 (60人以下へも対象)	

- ・定員割れ対策費
3700万円つく
- ・職員配置基準の改定

0才	3:1
1才	5:1
2才	6:1
4才	20:1
5才	30:1

 従来、0～2才が
5:1だったので
2才児6:1は後
退となった。
- ・労働時間短縮費が
3500万円に削減
- ・89人以下の特例休憩
の改善
- ・非常勤単価
@510円→@530円
- ・園長給与時加算5%

◆園 数 226ヵ園
◆総定員 21,945 名

- ・プール制事務の外部委託を答申
(京都計算センター)
- ・0才児一部4:1があったのを完全
3:1にする
- ・乳児対策が保母加配に一元化
- ・乳児保育指定園加算
- ・措置費
0才～6才まで3:1
7人以上は乳児保育事業費

◆園 数 226ヵ園
◆総定員 22,170 名

年度		平成3年度	
主な改善内容	プール制	第1表第34号 (446,600) 第2表第37号 (371,360) 第3表第37号 (310,860) 第4表第37号 (365,200) 第5表第37号 (250,690) ・配置基準一部改定 (5才児 30:1→25:1)	
市施策 プール制のみ	処改	201,233 千円	
	休憩	171,119	
	調理	379,809	
	事務	27,235	
	特例 特休	776,768 204,119	
	保母加配	963,382	
	労短	7,533	
	補填	0	
	計	2,941,198	
国施策	保育単価園長給		227,300 円 (238,100)
	民間施設給与等改善費		945,733千円
	乳児加算補助		196,013千円
	業務省力化 (270分短縮)		
	保母	140,500	
	調理	122,850	

- ・職員の配置基準の改正
5才児 25:1に(1億3,900万)
- ・非常勤単価
1億円(⑤530円→⑥630円)
- ・委員会の中で作業班
A班=現行基準によるプール制の定員
別形態別
職員配置状況、配分状況进行分析
現況分析と問題点の提出
B班=配置基準の今後の方向

◆園数 226カ園

◆総定員 21,660名

年度	平成 4 年度	
プ ー ル 制 主 な 改 善 内 容	第 1 表第 34 号 (160, 130)→34 号 (市 6 - 101) 第 2 表第 37 号 (383, 130)→43 号 (市 4 - 106) 第 3 表第 37 号 (320, 870) 第 4 表第 37 号 (376, 640)→42 号 (市 4 - 105) 第 5 表第 37 号 (260, 480) ◆配置基準一部改定 ①定数 B の整数化 ②特例休憩加配の拡大 ③調理加配の拡大 ④非常勤部分の 8 H 保障 ⑤非常勤単価 (⑤530→⑥630) ⑥有資格調理給移行の改定 ⑦昇給停止の延伸 (56才→58才) ◆給与表一部改定 (頭伸ばし 1・2・4 表) ◆配置基準一部改定 〔追加〕※H 4. 4 週及 ⑧非常勤部分の労短 (0. 25→0. 5)	
	(当初) (補正後) 処遇 205, 335 千円→213, 262 千円 (末) 非常勤単価改善 100, 450 調理 184, 304 → 197, 331 給食 455, 769 → 473, 876 事務 12, 389 特例 特休 840, 141 → 880, 876 220, 462 230, 875 保母加配 1, 033, 041 →1, 082, 052 労短 26, 319 年休 補填 0 計 3, 217, 401	
市 施 策 プ ー ル 制 の み	保育単価園長給 238, 100円 (当初本俸) 民間施設給与等改善費 941, 868千円 乳児加算補助 269, 735千円 ・業務省力化 (315分短縮) 保母 171, 100 調理 148, 780	

・健康都市構想にそって京都市社会福祉審議会が開かれる「京都における保育制度のあり方について」

・プール制の改善

1. 定数 B の整数化
2. 特例休憩対策の拡大 (定員条件の削除)
3. 調理員加配の拡大 (89人以下)
4. 非常勤部分の 8 時間保障と調整
5. 非常勤部分 単価増額 (⑤530→⑥630)
6. 昇給停止年齢の延伸 56才→58才まで併せて給与表 (1 表 2 表 4 表) の一部改定
7. 有資格調理員 (4 表格付けの改善)
8. 非常勤部分の労短 (0. 25→0. 5)

◆園 数 225ヵ園

◆総定員 21, 460 名

年度	平成5年度	
主な改善内容	プール制	第1表第34号 (493,680) 第2表第43号 (447,700) 第3表第37号 (329,230) 第4表第42号 (438,900) 第5表第37号 (268,620) ◆配置基準一部改定 ①端数換金(月額単価) ②労短(0.5→0.55) ③非常勤部分の8H保障 (年休+労短=4H→8) ◆昇給停止延伸処理 57才者1号加算 (25人 370万)
市施策 プール制のみ	処改	212,604→211,835 千円
	非常勤単価改善	— (労短に含む)
	休憩	194,684 → 198,876
	給食	480,676 → 483,556
	事務	10,092
	特例 特休	878,422 → 891,915 230,875 234,230
	保加配	1,078,196 →1,094,051
	労短	287,022
	年休	→ 54,596
	補填	0
	計	3,446,173
国施策	保育単価園長給	246,600円
	民間施設給与等改善費	981,804千円
	乳児加算補助	250,123千円
	・賞与 5.45→5.30 ・業務省力化 (360分短縮) 保母 202,600 調理 175,110 ◇厚生省・直接入所提案	

・プール制一部改定

1. 特例休憩基準

現行条件0才+完全

改定 0才～1才まで+完全 (H6.4実施)

保母+9 0.4 億

1. 調理員加配基準

現行条件0才7人、5人

改定 0才6人、5人、4人 (H6.4実施)

調理+12 0.5 億

1. 端数の換算処理

現行 端数×8×時間単価×口数

改定 端数×月額単価 (H5.4実施)

0.3 億

1. 年休代替時間数

0.3 →0.4

$15 \div 289 \times 8 = 0.41 \rightarrow 0.4$ (H6.4実施)

0.6 億

1. 労働時間短縮時間表

0.5 →0.55 (H5.4実施)

0.2 億

1. 非常勤

年休+労短で最低保障8H

年休代替費用として5400万新規予算
(H5.4実施)

◆園数 223カ園

◆総定員 21,280 名